

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第123号(2014.09.04 発行)

なお、本メールが不要な方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までご連絡ください。

《2学期 CP/CS 受講者募集中

9月18日木曜日締切》



【目次】

- ・巻頭言 広島経済大学 経済学部  
経営学科 准教授 藤田 順也
- ・経大見聞録
- ・2学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義の授業計画ご紹介  
『実務に役立つ経理入門』  
『経営戦略論の基礎』
- ・2学期カルチャー講座(CS)の授業計画ご紹介
- ・2学期キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)ラインナップ
- ・公開講座『シティカレッジ』の募集ご案内
- ・ネパール騒動記 『ネパールからナマステ』 Packer Taka
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

## 女性と人材マネジメント

「女性の活用」という言葉を、ここ数年何度見たことでしょうか。最近では労働力人口の減少という視点から、潜在的労働力と考えられている女性を活用したいというレトリックが主流ですが、これでは、足りない労働力の埋め合わせといった印象が抱かれる可能性もあります。企業として「女性を活用する」という場合、2つの視点があると考えられます。1つは上で見たように、これから雇う女性の活用であり、2つ目は既に社員として働いている女性の活用です。ここでは、後者の2つ目の視点で表される女性について話したいと思います。将来の経営者候補として熱い期待をかけて採用し手塩にかけて育てた女性が、結婚、出産、配偶者の転勤などを機に会社から去ってしまう…。この事態を防ぐためには何が必要でしょうか。それを考える際に前提として押さえておきたいのが、日本経営史で表される女性です。

女性の活用という視点で経営史をさかのぼると、戦前期の女工労働に落ち着くのが一般的でしょう。大正期・昭和初期に繊維業の現場で若い女性たちが働いていたという事実は、広く世に知られています。しかしながら、彼女たちは結婚を期に離職するという慣行が一般的でした。それどころか、繊維業で働いていたことが、結婚相手との出会いに寄与していたということも、史実として分かっています。つまり、繊維業で働く女性たちは、結婚までの間だけ活用されていたということです。

戦後高度経済成長期を通して、男性は企業勤め、女性は家庭に、という社会規範が一般的になった時、女性労働者が経営史で語られることはほとんどありませんでした。女性という視点は企業経営からほぼ除外されていました。この時期に急成長を遂げたサービス業で活躍した女性労働者が、経営史の対象となることはありませんでした。

その後、男性とともに女性の高学歴化が進み、男女雇用機会均等法を機に設けられたコース別採用では、女性は、総合職社員として経営に関わる機会が与えられました。しかしながら、彼女たちがアクターとして経営史に現れることはほぼありませんでした。実際、総合職女性が経営を担うには男性と同じ働き方が求められるのが当たり前で、家族の世話に責任を持つ女性が業務での責任を男性並みに全うすることは困難で、多くが退職していったのです。

このように、「女性の活用」という視点で経営史を見ると、現在のレトリックは新しいものであることが分かります。幼い子供を育てながら将来の経営者候補として責任の重い仕事に就くという視点は、これまで経営史の中に存在しなかったのです。しかし、昨今、企業で働く人材は様々な背景を持っています。病気の親の介護を任せ、決まった時間に帰宅しなければならない男性もいるでしょう。若い世代の中には、結婚や出産を機に退職するなど考えたこともないという人もいます。こういった社会では、単に女性を活用するという枠組みだけでなく、「家庭での責任を負う人材を活用する」という視点がより重要になるでしょう。そのためには、社会全体で女性を活用するという視点以前に、個々の企業がそれぞれの企業活動の枠組みで家庭責任を負う人材を活用するという視点で、対応していくことが大切でしょう。「この業務は本当に必要だろうか」、「この会議はメールで済むのではないか」などの身近な疑問をまず集約し、消化していきましょう。これらは業務の効率化をもたらし、長時間労働問題を解消できるでしょう。そして次第に疑問の枠を広げ、「ここの部署へのこの配置は本当に必要か」、「配置にあたって本人の意向を取り入れた方がより活躍できるのではないか」などの、配偶者の転勤による離職問題関連の議論も深めていくことができるでしょう。こうした対応により、今の社会で、個々の企業が人材をより効率的に活用できるようになり、将来的に経営の中核を担う人材を育てることにつながります。人材が安定し、企業が持続的な成長を遂げるようになれば、結果的に日本企業全体として付加価値を上げることになるでしょう。女性の活用という視点は、こういった大きな可能性を含んでいるかもしれません。

## ■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き生きとした明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、

本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒープレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【8/24】カフェ運営プロジェクトが「ひろしまスマイルフェスタ」に参加しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008116.html>

【8/25】中国植林プロジェクトが植林活動のため中国へ出発しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008107.html>

【8/22】8月24日(日)のオープンキャンパスは、9月23日(秋分の日)に延期しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008102.html>

【8/26】スクールバス 9/23(秋分の日)オープンキャンパス特別ダイヤについて

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/kanzai/news/schoolbus/0000008074.html>

【8/31】広島土砂災害による被災地域支援ボランティアの受付窓口を学生課内に設置

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008118.html>

【9/1】中国植林プロジェクトが無事帰国しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008134.html>

【9/1】広島ハワイ文化交流プロジェクトがハワイに向けて出発しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008138.html>

---

## ■2 学期キャリアアップ・プログラム(CP) 講義の授業計画ご紹介

今回は2学期の金曜日は2講座あります。『実務に役立つ経理入門』エントリー(入門)科目と『経営戦略論の基礎』(ベーシック)科目の授業計画(シラバス)をご紹介します。

【お申込みは】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/procedure.html#>

【受講者の声をご覧ください】

2013年度には、昨年度行った『実務に役立つ経理入門』(1学期)と『経営戦略論の基礎』(2学期)の受講者の声があります。

2013年度2学期 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2013.html#2term>

2014年度1学期 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2014.html>

科目名	実務に役立つ経理入門 エントリー(入門)科目
講義日と受講料	10月24日、31日、11月7日、14日、21日、28日 毎週金曜日 計6回講義
担当者	餅川正雄(本学 教養教育部 教授)
副題	経理の基本をマスターし実務につなげたいあなたのために
対象者	経理実務のことを知りたい人を対象とします。簿記や経理に関する入門書を読んでも、専門用語が最初から出てきて難しいと感じている方や、仕訳のルールや決算の流れがピンとこないと思われる方、会社の経理担当者が財務諸表をどのように作成しているのかを知りたいと思っている方などを対象としています。
到達目標	1. 複式簿記の基礎と財務諸表の構造を理解する 2. 取引を二面的に記録する仕訳のルールを理解し、仕訳が切れるようになる 3. 商品売買取引の帳簿記入を理解し、総勘定元帳への転記ができるようになる 4. 会計帳簿と会計伝票を理解し、伝票の集計ができるようになる 5. 決算の本質と実務を理解し、決算整理ができるようになる

概要	<p>経理実務を意識しながら、専門用語を日常用語に言い換えて、分かり易く解説します。簿記の中心テーマは「仕訳」と「決算」の二つです。企業経営を経理の視点から把握するための基礎知識を獲得できるように講義します。</p> <p>最初にそもそもなぜ簿記が必要なのかを解説し、取引を貸方と借方の2つの方向から見る複式簿記の考え方を納得してもらいます。そして、各種の取引の処理方法を紹介し、会計帳簿の記入方法やや会計伝票の作成・集計などを演習してもらいます。最後に決算とは何かを解説し、貸借対照表と損益計算書の作成演習を行います。</p>	
授業内容	第1回 10/24	貸借対照表と損益計算書から何が読み取れるのだろうか？
	第2回 10/31	借方・貸方とは何か？仕訳(しわけ)は、どのように考えて切るのだろうか？
	第3回 11/7	商品の売買に関する取引には、どのようなものがあるのだろうか？
	第4回 11/14	小切手・手形・有価証券などに関する取引をどのように処理するのだろうか？
	第5回 11/21	実務での会計帳簿と会計伝票は、どのようなものがあるのだろうか？
	第6回 11/28	決算の実務はどのようなものだろうか？ 予算編成はどうやって行うのだろうか？
授業の形式	座学	
授業の進め方	講師が作成した資料を使って進めます。最初に内容を理解し納得できるように簡潔に説明します。その際に、実際に体験した経理実務での面白い話や、原価計算の方法についても話します。	
教材費などの追加負担	<p><b>使い慣れた電卓が必要です。</b></p> <p>教材費の負担はありません。</p> <p>参考文献として、次の本を紹介します。</p> <p>前田信弘著((2010)『簿記一年生』日本能率協会マネジメントセンター, ¥1,365-</p>	
受講者へのメッセージ	授業では、教科書的な学習簿記の話に加えて、経理実務の体験談も盛り込みたいと思います。日商簿記などの検定試験を受験したい場合には、過去問題を繰り返して解く必要があります。	
講師紹介(自己紹介)	<p>餅川正雄 (経済学部 教養教育部 教授)</p> <p>1956年広島県生まれ、1979年3月広島経済大学卒業、社会保険広島市民病院会計課経理係で予算・決算業務に従事しました。その後、広島県立広島商業高等学校の商業科教諭として簿記会計の指導を担当しました。中国五県簿記検定委員長を3年間務め、会計や原価計算の検定試験の作問を経験しました。広島県教育委員会事務局の指導主事、主任専門員を経験し、広島市立広島商業高等学校教頭を経て広島経済大学へ移りました。専門は、商業科教育法で、現在は高等学校「簿記」の指導方法について研究しており、大学でも簿記原理Ⅰや簿記2級検定演習などを担当しています。</p>	

科目名	経営戦略論の基礎 ベーシック(基礎)科目
講義日	10月24日、31日、11月7日、14日、21日、28日 毎週金曜日 計6回講義
担当者	堀江浩司 (本学 経営学科 准教授)
副題	戦略的思考を身につけたいあなたのために
対象者	経営戦略を初めて学ぶ人、経営戦略を基礎からおさらいしたい人
到達目標	「経営戦略に関わる本やニュースを読みこなすための基礎」をマスターすることを目標とします。

概要	環境の不確実性が高まる今日においても、優れた業績をあげている企業は確かに存在します。これらの企業に成功をもたらしているのは何でしょうか。本講座では、経営戦略論の視点からその理由を探ることで、経営戦略についての基礎的な知識を学んでいきたいと思えます。	
授業内容	第1回 10/24	経営戦略とは
	第2回 10/31	ポジショニング・ベースの戦略論
	第3回 11/7	資源ベースの戦略論
	第4回 11/14	創発的戦略とゲーム論的アプローチ
	第5回 11/21	イノベーションと価値創造
	第6回 11/28	戦略的思考
授業の形式	座学	
授業の進め方	レクチャー中心 宿題なし。基本的に1回完結型です。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	本講座では、経営戦略の理論的な考え方の全体像を提供していきますが、初学者が経営戦略に興味を持っていただけるように、できるだけ多くの事例を用いて講義をすすめたいと思えます。	
講師紹介 (自己紹介)	堀江 浩司 (経済学部 経営学科 准教授) 専門は経営戦略論と経営組織論。2003年神戸商科大学(現、兵庫県立大学)大学院経営学研究科修了。2004年本学講師、2008年より准教授。修士(経営学)。価値創造と組織の関係を研究テーマとしている。	

## ■2学期カルチャー講座(CS)の授業計画ご紹介

現在、NHK 大河ドラマで放映されている『軍師官兵衛』を観ておられる方も沢山いらっしゃると思います。この戦国時代に生き抜いた人々に焦点を当てた講座が2学期のカルチャー講座です。

歴史のお好きな方や、講師の長谷川先生からの受講者へのメッセージにありますように、乱世を生きた人々の息吹を感じる時間を共有しませんか！ 受講料 5,000円(6回講義)

科目名	<b>乱世を生きた人々</b>	
講義日	10月22日、29日、11月5日、12日、19日、26日 毎週水曜日 計6回講義	
担当者名	長谷川 泰志 (本学 教養教育部 教授)	
副題	～戦国軍記の群像～	
全体の授業内容	本講座では、戦国乱世を生きた人々の物語が、いつ、どのように作られたのか、そしてどのように継承されてきたのかを探っていきます。その際、記録者、外交僧、ブレン、商人、芸能者を切り口として、歴史資料と文学資料を比較しながら読者が望んだ「物語」とは何かを考えていきます。	
授業内容	第1回 10/22	戦国の記録者たち(太田牛一、大村由己、小瀬甫庵)
	第2回 10/29	戦国の外交僧(安国寺恵瓊)
	第3回 11/5	戦国大名のブレンたち(太田道灌、黒田官兵衛、竹中半兵衛、山本勘介)
	第4回 11/12	戦国時代の商人たち(角倉了以、今井宗久、本阿弥光悦)
	第5回 11/19	戦国の芸能者たち(世阿弥、出雲阿国、古田織部、石川五右衛門)
	第6回 11/26	毛利氏と軍記(桂炭圓覚書、老翁物語、陰徳記、陰徳太平記、新裁軍記)

授業の進め方	手紙や日記等の歴史資料と、戦国軍記等の文学資料の両方を使って、物語が作られていく過程をわかりやすく解き明かしていきます。
教材費などの追加負担	教材の負担はありません。
受講者へのメッセージ	乱世を生きた人々の息吹を感じる時間にしましょう！
講師紹介 (自己紹介)	1958年広島市生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程満期退学。1993年より広島経済大学勤務(2002年より教授)。専門は『太閤記』、『信長記』等の軍記文学。共著書に『信長公記を読む』(吉川弘文館、2009年)、『承久記・後期軍記の世界』(汲古書院、1999年)、論文に「軍記の中の安国寺恵瓊」(「鯉城往来」3号、2000年)、「甫庵『太閤記』諸版の成立—正保三年版補入考—」(「国語と国文学」第68巻第1号、1991)など。

お申込みは <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html> から宜しくお願いします。

※締め切りは9月18日木曜日ですが、定員20名になり次第募集は打ち切りますのでご了承ください。

## ■2学期キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)ラインナップ

講座名をクリックすると授業計画(シラバス)がでてきます。

CP/CS	講座名	開講曜日	開講日(計6回)
CP	<a href="#">財務会計の基礎</a>	月曜日	10/6,10/20,10/27,11/10,11/17,12/1
CP	<a href="#">歴史から読み解く日本の企業経営</a>		
CP	<a href="#">国際金融の基礎</a>	火曜日	10/21,10/28,11/4,11/11,11/18,11/25
CP	<a href="#">ゲーム理論の基礎</a>		
CP	<a href="#">確率・統計入門</a>	水曜日	10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26
CP	<a href="#">マーケティングの基礎</a>		
CP	<a href="#">コーポレートファイナンスの基礎</a>	木曜日	10/23,10/30,11/6,11/13,11/20,11/27
CP	<a href="#">Excelで学ぶデータマイニングの基礎</a>		
CP	<a href="#">実務に役立つ経理入門</a>	金曜日	10/24,10/31,11/7,11/14,11/21,11/28
CP	<a href="#">経営戦略論の基礎</a>		
CS	<a href="#">乱世を生きた人々</a>	水曜日	10/22,10/29,11/5,11/12,11/19,11/26

お申込みの際は必ず授業計画(シラバス)をご覧いただき、講義内容をご確認の上お申込みください。

【キャリアアップ・プログラム(CP)お申込み】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>

【カルチャー講座(CS)お申込み】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

## ■公開講座『シティカレッジ』の募集ご案内

前回のCP通信でお知らせしましたが、公開講座『シティカレッジ』は下記のとおりです。

本学の講座は、『地域が元気!』と題し、10月28日(火)から11月25日(火)まで5回連続開講されます。

どなたでも聴講できますので下記のURLをご覧ください。(受付開始は9月1日月曜日から先着100名)

シティカレッジの詳細は [http://www.hue.ac.jp/lecture/extension/city\\_college.html](http://www.hue.ac.jp/lecture/extension/city_college.html)

## ■ネパール騒動記

ネパールからナマステ

Written By Packer Taka

### 第3話 マウンテンフライトからナガルコットへ

翌朝7時前にゲストハウス(以下“GH”)前にビスタさんの手配した迎えの車が来た。その車に乗り、カトマンズ国内線の空港へ向かった。

搭乗手続きをするため、航空会社の窓口を探していると男が近づいてきた。『ちょっとチケットを見せてみなさい。』と言うので航空会社の社員かと思いきや、チケットを持ってカウンターへ行くので付いて行こうとすると『まあ、あのベンチで座っとりなさい。』と言った。ベンチに座っていると5分10分と長く時間が掛るので、その男が立っているカウンターへ行くと『ベンチで待っとりやエエんじゃけえ〜。』と再度言われてベンチで待っていると、しばらくすると男は搭乗券を持ってきてチップをくれと言う。

『えっ! なんぼや?』と100ルピー札を渡すともう一枚と言うので、もう100ルピー渡してやった。考えてみると200ルピーはチップとしては高すぎた気がする。その男はチップを稼ぐ男だったようで、『こんな商売をする奴も居るもんじゃ!』とその時は感心した。

セキュリティを通り、待合室へと進む。出発時間近くになったので、警備の人に『まだ外へは出られんのか?』と聞くと『アントアの乗る飛行機はまだじゃけん、そこに座っとりなさい。』と言われるまま待っていると、出発時間になった。どうもおかしいので、違う警備の人に聞くと『ありやりやあ! 早よう外に出てバスに乗りなさい。』と…。外に出て待機していたバスに乗っていると『Packer Taka!!』と呼ばれ、『おうー! ワシじゃ!』と手を上げると『急いであっちのバスに乗りなさい!』とバスの移動を命ぜられ、持っているチケットとは違う航空会社の飛行機にさせられた。後で状況を自分なりに推理してみると、すでにワシのマウンテンフライトの飛行機は出発した後で、違う航空会社がワシを引き受けてくれたのだと思った。観光慣れしていると言うか、日本では乗り遅れたと言って違う航空会社に乗ることなんて事は考えられないが、ここでは持ちつ持たれつなのだろうか。

前置きが長かったが、このマウンテンフライトは本当に素晴らしいものだった。ヒマラヤ山脈が何十キロ(?)も続き、景色は雨季とは言え飛行機は雲の上に出ているのだからはっきりと見え、本当に雄大で感動的だった。また、エベレストが観えるようになると乗客が1人ずつコックピットへ呼ばれ、女性副操縦士から『あの山は〇〇〇山、この山は〇〇〇山、そしてあそこに見えるのがエベレスト。』と説明がありコックピットから写真も撮らせてくれた。〇〇〇山としたのは、副操縦士のネパール訛りのある英語(?)を聞き取ることができなかったが、エベレストの発音だけはネパール訛りがなく聞き取れた。



誰かのブログに『マウンテンフライトの飛行機は左の席へ座った方がよく見える。』と書いてあったが、行きは左側の席から観え、帰りは右側の席から観えるので、確実に観える。今回搭乗者も少なかったので、行き帰り両方の窓へ移動し景色は良く観えた。

実はワシは高い所は苦手だが、これだけ神秘的なエベレストの山々を観ると登ってみたいと思った(注: 思うだけ!)。また、初めてネパールに来て本当に良かったと思えた瞬間でもあった。

マウンテンフライトが終わり、手配された同じ車が待っていており、その車でナガルコットへ向かった。途中、運転手さんから『この道路は日本の援助でできた“日本道路”』などと説明があり、日本のODAで出来た道路だと教えてくれ感謝された。ワシは直接的にはお金を出していないが、税金で間接的に出しているのでもちよと得意になった。車の中ではネパール語講座と英語講座になり、もちろん運転手さんが先生で、ワシが生徒だ。色々教えてくれたあげく先生は、『もっと英語を勉強せにゃ!』だって…。分かっちゃいるけど、ワシの言語は広島弁なんじゃ!

ナガルコットのホテルに着き、屋上に“View Point”と言う展望台があるというので上がってみた。山の名前は分からない

が、三角錐の形をした頂上が2～3分位だろうか観えた。肉眼でしかも地上から観たいと思っていた山は本当に綺麗だった。しかし、その後雲がかかり、15時頃まで展望台で観察したが1回も観ることができなかった。やはり雨季のネパールに来たのは間違いだったのか…。

昼からはどんどん雲が厚くなり、山を観るのをあきらめて15時頃から村の散策に出かけてみた。GHへ戻る途中、食料品店に行くとビールと軽く食べられる食料を買おうと思ったが、ポテトチップのような油で揚げた物と、ビールは冷やして飲む習慣がないのか、冷えていないようなので買う気にならず、GHに戻りレストランでビールとチャンポン麺のような『トゥクバ』を注文した。これで今日の晩飯は済んだと思って本を読んでいると、GHの人から『ディナーが始まったので食べんさい。』と言われた。『腹一杯じゃけえ、後で食べるわ。』と言ったら『料理が冷めるけえ、今食べんさい。』と言われ仕方なく食べることにした。



見ると美味しそうな料理が並んでおり、『スープ』『焼飯』『焼きそば(チョウメン)』『野菜のポイル』『フライドポテト』『鶏のから揚げ』がバイキング形式になっており、奥の席でいかにも中国人だろう集団が大きな態度と大声でしゃべり、料理を美味しく食べていた。負けたような気がしたので、腹一杯だったが食べた。

その日は夕食後、部屋に戻り洗濯をしてシャワーを浴び、日記を書いて明朝旭日を見ようと早いが就寝した。

This story is to be continued.

---

#### ■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。ご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。ご寄稿頂ける方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

---

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までどうぞ。

**HUE** 広島経済大学  
**CAREER UP PROGRAM**